

会議録

会議の名称	平成22年度第4回西東京市健康づくり推進協議会
開催日時	平成22年12月21日 午後1時から2時45分まで
開催場所	西東京市防災センター6階
出席者	玉置会長、内田副会長、石田委員、志藤委員、池田委員、大島委員、石井委員、橋岡委員、平田委員、高梨委員、高西委員、高橋委員、田中委員、松島委員
議題	(1) 健康都市宣言のパブリックコメントの結果について (2) 健康都市宣言文について (3) キャッチフレーズ、市民の取り組み目標について
会議資料の名称	健康都市宣言のパブリックコメントの結果について …資料1 「健康都市宣言文（案）」 …資料2 キャッチフレーズ、市民の取組み目標について …資料3
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

(1) 第3回議事録について
修正意見なし、承認

(2) 健康都市宣言のパブリックコメントの結果について …資料1

○会長：

1月15日から1か月、パブリックコメントにより市民意見を募集した。

○事務局：

資料1について説明

○委員：

件数が少ないので意見が偏るのではないか。

○事務局：

7月にアンケートをとっている。

○会長：

各論の部分で市民にわかることを出していく必要がある。

(3) 健康都市宣言文について…資料2

○事務局：

資料2「健康都市宣言文（案）」について説明

宣言内容については、これまで本協議会で議論を重ねてきた。また庁内の検討会・早稲田大学からのアドバイスや理事者の考えを踏まえ、簡潔でわかりやすい内容とした。

構成は前文・本文・解説としている。前文は、アンケート結果からも市民の望んでいる「みどり」や「安心できる外出環境」と「自らの健康は自らの手でつくる」という健康づくりの基本的な考え方を表現している。また本協議会から意見がでた「健康診査やがん検診等の定期的な受診」について、前文の中で「自らの健康状態をよく把握し」と表現とした。

宣言文と合わせて公表する「私たちの取組み目標」の中で、具体的に表現したい。次の本文は、前回の会議で合意した「自らの行動目標」の4つの柱、「食・栄養」、2つ目が「運動・スポーツ」、3つ目が「心・休養」、最後に「学び・創造」を文章化した。

各最後の「楽しみます」は、行動的なイメージと明るさを打出すために揃えている。最後の解説では、宣言の契機を整理した。あくまで宣言文としては、前文・本文までと考えている。この宣言文（案）が、最終的には特徴のない宣言内容となっているが、この後の議題にもなっている「市民の取組み目標」を一緒に示す事や23年度の予算成立後に行政の支援施策を発表することで、西東京市らしさを出していきたい。

○委員：

健康都市というのは、人だけではなく環境の部分もある。行政や社会が支える公助の部分が薄い。行政は何もしない感じを受ける。公助のところを丁寧な文章にしたほうがよい。

○事務局：

取組目標とあわせて、行政の取組目標を発表する。庁内検討会で現在、市の支援施策は洗い出している。5月の時点で出せる。

○委員：

キャッチフレーズにしゃきしゃきがでている。資料2には「輝く」が印象的である。しゃきしゃきの意味合いがわからない。落ち着きさが少し足りない感じがする。

○事務局：

しゃきしゃきの言葉はしゃきしゃき体操、地場農産物であるキャベツや梨のシャキシャキ感、健康的なイメージをもつしゃきしゃき、それらから使用している。

○委員：

果物は推進プランにも入っていないのになぜ入れたのか。野菜を中心にいくはずではないか。

○事務局：

庁内検討委員会で農業を推進するセクションからの意見で、食育の農の部分で、地産地消につなげる意味合いで入れた。

○委員：

野菜中心のほうがよい。生産的なものを加味するなら仕方ないが、いろんなことを言いすぎると分かりづらくなる。

○委員：

野菜というと教育のイメージがあるが、果物が入ると楽しむイメージがでる。

○委員：

果物を全部にいれるかどうか。統一した方が良い。

○事務局：

「楽しみます」の中には家族団らんというが入っている。取組目標の5項目、健康チェックは4本柱にはない。重点的に取組みとして出したいものをだしている。

○委員：

宣言文をみると「楽しみます」で統一しているが、宣言文なので楽しみますというより、食事をしますとかにしたほうがよい。

○委員：

健康状態をチェックしようというものを、柱に入れた方がいいのではないかな。

○事務局：

全文のところと取組の部分に健康状態の把握を入れている。

○委員：

健診は継続的にできないから柱にはできないと行政は言うが、自分の健康状態をチェックしようは個人がやるもので何をやるかは書いていない。健康状態のチェックは行政の責任とっていない。自ら行うと言っている。

○委員：

宣言しますという以上は背骨がないのはおかしい。

○委員：

「自らの健康状態を把握し、より快適な生活を楽しみます」とかにするなど自分で自分の健康状態に気がついて行動する。

○委員：

運動スポーツも生きるために必要ではない。健康状態の把握と同じレベルで整合性もあり、何も問題はない。イメージ図もそのままでもよい。

○事務局：

「楽しみます」というのを市民が行動するにあたり明るいイメージをもたせるために入れている。「楽しみます」に深い意味合いがある。

○事務局：

「楽しみます」は韻を踏んでいる。健康状態を軽んじているわけではない。

○会長：

「自らの健康状態を知り、健やかな生活を楽しみます」に変更し、一番上に持ってくる。

○事務局：

「果物」を取って、「地元の野菜がある食生活を楽しみます」に変更する。

○事務局：

全文の「自らの健康状態をよく把握し」を取る。

○委員：

果物を取組目標にいられたほうがよい。

○委員：

「身近なところから」を「身近なところで」というのはどうか。

○事務局：

「から」には環境と手段の意味がある。事務局に一任でお願いしたい。

(4) キャッチフレーズ、市民の取組み目標について…資料3

○事務局：

「しゃきしゃき」は、市のオリジナル体操の「しゃきしゃき体操」「西東京市で生産されているキャベツや梨のしゃきしゃき感」「健康なイメージのしゃきしゃき」を連想している。また笑顔については、誰もが願うことであり、これを簡潔にしたキャッチフレーズとして、「しゃきしゃき笑顔の健康都市 西東京市」としたいと考えている。また、パブリックコメントで寄せられたメッセージについても、参考に出している。

また、意見の内容によって、答申に付帯意見をつける事で承認をお願いしたい。（基金の新設により財源を確保することなど）

○委員：

しゃきしゃきはぜひ入れてほしい。介護予防のために役に立つ。学問的にも承認されている。

○委員：

しゃきしゃき笑顔をいれるならば、どのような笑顔か。

○委員：

笑顔を入れない方が、インパクトがある。

○委員：

「しゃきっと健康都市 西東京市」はどうか。

○委員：

お年寄りのための言葉のイメージがある。若い人からみてどうなのか。

○事務局：

新しいしゃきしゃき体操を考案しており、広く周知する予定である。

○会長：

「しゃきしゃき」を使う。私たちの取組目標の「私たち」はとる。付帯意見として、宣言文が実現可能となるよう医師会と協力し財源の要求をする。

(5) その他

次回の協議会1月19日（水曜日）午後1時から

本日のご意見を踏まえた答申（案）を提示し承認を頂きたい。